



# 平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三光マーケティングフーズ  
コード番号 2762 URL <http://www.sankofoods.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平林 隆広  
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部長 (氏名) 富士森 理忠

TEL 03-5985-5711

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第1四半期の業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	3,216	△1.0	△123	—	△112	—	△120	—
28年6月期第1四半期	3,248	△7.1	△54	—	△49	—	△59	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△8.38	—
28年6月期第1四半期	△4.13	—

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	10,908		8,052			73.8
28年6月期	11,328		8,286			73.1

(参考)自己資本 29年6月期第1四半期 8,052百万円 28年6月期 8,286百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	8.00	—	8.00	16.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,500	9.3	100	△21.4	100	△41.4	10	△93.3	0.70
通期	15,000	9.1	300	11.8	300	△7.5	100	△66.0	6.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	14,387,000 株	28年6月期	14,387,000 株
29年6月期1Q	— 株	28年6月期	— 株
29年6月期1Q	14,387,000 株	28年6月期1Q	14,387,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点(平成28年11月11日付)において、金融商品取引法に基づくレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成28年7月1日～平成28年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策の影響もあって、企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調にあるものの、中国や新興国における景気減速などで、経済環境は依然として不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、「原材料高騰」に加え、今日では、店舗運営の為に「人件費の増大」と共に、人員確保もより難しくなっており、またお客様の「食の安心・安全への要求」が高まる中、「業種・業態の垣根を超えた競争」もますます激化し、きめ細かい対応が必要になってきております。

このような状況の中、当社は企業理念「価値ある食文化の提案」を基として、全社員が「行動の原理・原則・原点」を確認・徹底することに注力し、付加価値の高い商品提供やオペレーションの強化をはかってまいりました。

既存ブランドの「金の蔵」では、名物メニュー「金蔵つくね3兄弟」「秘伝の唐揚げ」「牛ホルモン旨辛味噌焼き」の3品を中心にグランドメニューを変更。更に各店舗が看板メニューをブラッシュアップするなど、積極的なメニューの開発により、お客様満足度とともに、ブランド価値の向上を図っております。

またお客様の嗜好が、独自型や専門型へ移行している中、市場環境・競争環境の変化に適応すべく、焼き鳥・焼トンを中心に据えた本格品質の大衆酒場「アカマル屋」の展開をはかりつつ、蕎麦とともに気軽にお酒をお楽しみいただく蕎麦酒場「るびや」を立ち上げました。

店舗展開につきましては、2店舗の新規出店、1店舗の業態変更を実施いたしました。

以上の取り組みにより売上高は、32億16百万円(前年同期比1.0%減)となりました。営業利益につきましては、食材調達価格の高騰や人件費の上昇もあり、1億23百万円の損失(前年同期は営業損失54百万円)となりました。経常利益は1億12百万円の損失(前年同期は経常損失49百万円)、当四半期純利益は、1億20百万円の損失(前年同期は四半期純損失59百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における流動資産は、41億44百万円となり、前事業年度末に比べ、4億60百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したことによるものであります。固定資産は67億64百万円となり、前事業年度末に比べ、40百万円増加いたしました。これは主に、固定資産の取得及び差入保証金の差入によるものであります。この結果、総資産は109億8百万円となり、前事業年度末に比べ、4億19百万円減少いたしました。

当第1四半期会計期間末における流動負債は、15億42百万円となり、前事業年度末に比べ、1億95百万円減少いたしました。これは主に、未払費用、前受収益の減少によるものであります。固定負債は、13億14百万円となり、前事業年度末に比べ、微増いたしました。この結果負債の部は、28億56百万円となり、前事業年度末に比べ、1億85百万円減少いたしました。

当第1四半期会計期間末における純資産の部は、四半期純損失の計上、配当金の支払等により80億52百万円となり、前事業年度末に比べ2億34百万円減少いたしました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成28年8月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,085	3,643
売掛金	144	136
原材料	33	34
前払費用	295	292
その他	46	38
流動資産合計	4,605	4,144
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,429	4,530
減価償却累計額	△2,640	△2,708
建物(純額)	1,788	1,821
工具、器具及び備品	994	1,017
減価償却累計額	△850	△858
工具、器具及び備品(純額)	144	159
土地	942	942
建設仮勘定	45	19
有形固定資産合計	2,920	2,943
無形固定資産	18	17
投資その他の資産		
関係会社株式	33	33
差入保証金	3,421	3,439
その他	337	338
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,784	3,803
固定資産合計	6,723	6,764
資産合計	11,328	10,908

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	528	504
未払金	186	201
未払費用	506	435
未払法人税等	91	35
未払消費税等	55	70
前受収益	204	148
役員賞与引当金	20	-
設備関係未払金	62	37
資産除去債務	44	44
その他	36	64
流動負債合計	1,737	1,542
固定負債		
繰延税金負債	140	140
退職給付引当金	117	122
資産除去債務	734	743
その他	311	307
固定負債合計	1,304	1,314
負債合計	3,042	2,856
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,390	2,390
資本剰余金	2,438	2,438
利益剰余金	3,459	3,224
株主資本合計	8,289	8,053
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
評価・換算差額等合計	△2	△1
純資産合計	8,286	8,052
負債純資産合計	11,328	10,908

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	3,248	3,216
売上原価	842	840
売上総利益	2,406	2,376
販売費及び一般管理費	2,460	2,499
営業損失(△)	△54	△123
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	5	5
受取配当金	0	0
貸倒引当金戻入額	0	-
その他	1	7
営業外収益合計	8	13
営業外費用		
賃貸費用	1	1
貸倒引当金繰入額	-	0
その他	0	0
営業外費用合計	2	1
経常損失(△)	△49	△112
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
減損損失	1	-
特別損失合計	1	-
税引前四半期純損失(△)	△50	△111
法人税等	9	9
四半期純損失(△)	△59	△120



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。